



スルガ銀行

ミニディスクロージャー誌 2022
第211期営業のご報告

2021

4 / 1

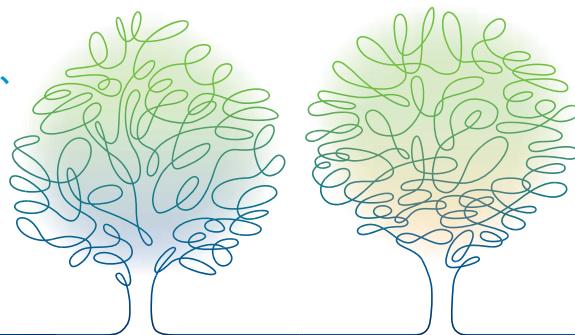


2022

3 / 31

あってよかった、 出会えてよかった、 と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、
お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、
お客さまの人生に寄り添い、
必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。



〈私たちの想い〉

私たちは、何よりもお客さまのことを考える銀行でありたい。

お客さまの声に真摯に耳を傾けて、スルガならではの付加価値を提供することで、
お客さまから「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在を目指します。
お客さまに心から満足していただくためには、
サービスを提供する社員がやりがいを感じていることが不可欠です。
お客さまからだけでなく、社員にとっても、「あってよかった、出会えてよかった。」と
思われる存在になりたい、という想いを込めています。

当社の概要 2022年4月30日現在

| | | | | | | | | |
|-----|--------------------|----|-----------|----|------|---|------|---|
| 設立 | 1895年(明治28年)10月19日 | | | | | | | |
| 本店 | 静岡県沼津市通横町23番地 | | | | | | | |
| 店舗数 | 国内 118 | | | | | | | |
| | 静岡県内 | 61 | 神奈川県内 | 36 | 東京都内 | 4 | 北海道内 | 1 |
| | 埼玉県内 | 1 | 千葉県内 | 1 | 愛知県内 | 1 | 大阪府内 | 1 |
| | 福岡県内 | 1 | インターネット支店 | 11 | | | | |
| 資本金 | 30,043百万円 | | | | | | | |

目次

| | |
|--------------|----|
| ごあいさつ | 2 |
| 営業の概況 | 3 |
| サステナビリティ | 8 |
| 営業店舗網 | 13 |
| 株式会社についてのご案内 | 14 |



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、弊社は、引き続き地域金融機関の使命である金融仲介機能を果たすべく、お客さまの資金繰りや事業の再構築等のご相談に迅速かつ柔軟に対応し、お客さまの事業継続および地域経済の回復に向けて役職員一同全力で取り組んでおります。

弊社は中期経営計画“Re:Start2025”のもと、お客さまのさまざまなニーズにお応えするために、機構改革を実施しており、2021年度、エリア特性に応じた地域密着の営業体制とするため、より細分化した30エリアからなるハブ・サテライト店舗体制への移行を完了しました。これに合わせて、サテライト店舗のバックオフィス業務の本部集約とDX等を取り入れたデジタル化による業務効率化を進め、お客さまとのコミュニケーション時間を創出するよう努めております。また、更に一步踏み込んでお客さまに寄り添ったサポートが出来るように、資産コンサルティングに特化したFA（ファイナンシャルアドバイザー）と、各店舗の業務も行いながら、お客さまに資産コンサルティングを行うFAカウンターを約200名任命し、より専門的なご提案が可能な体制といたしました。また、法人のお客さま向けにも、スルガ銀行グループ全体でソリューションをご提供できる体制を構築しております。

SDGsの観点からは、弊社は、2021年9月にファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂・FI）を推進する専門部署として「FI推進室」を設立し、まずは外国籍のお客さまに向けた金融サービスの充実に取り組んでおります。生産年齢人口の減少などにより、今後、外国籍の労働者は地域経済



社長

嗟 哉 行 介

の大きな担い手となっていくことが想定されます。外国籍の皆さまが日本で生活する上で必要な各種金融サービスをご提供させていただくことによって、弊社グループのマテリアリティ（優先的に取り組むべき重点課題）である「サステナブルな地域経済・社会の構築」に取り組んでまいります。

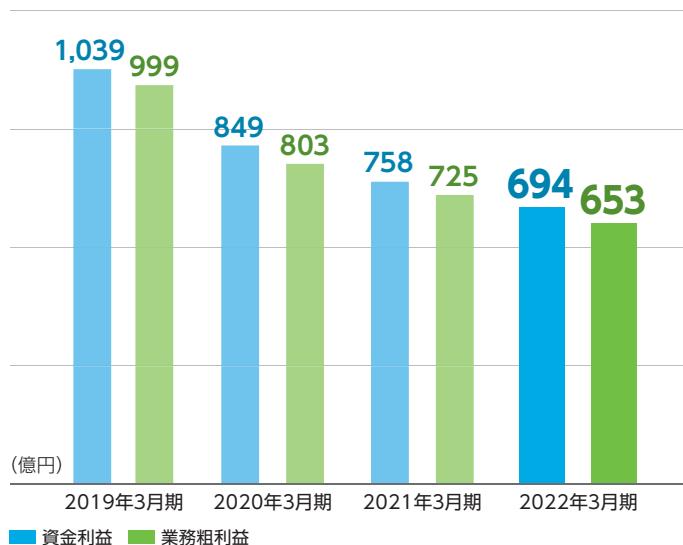
私どもは、多様化・高度化するお客さまのニーズにお応えするため、弊社グループ内の連携を強化し外部提携先のネットワークも活用したコンサルティング機能を充実させることで、皆さまから『あってよかった、出会えてよかった』と思われる存在を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも温かいご支援と、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

営業の概況

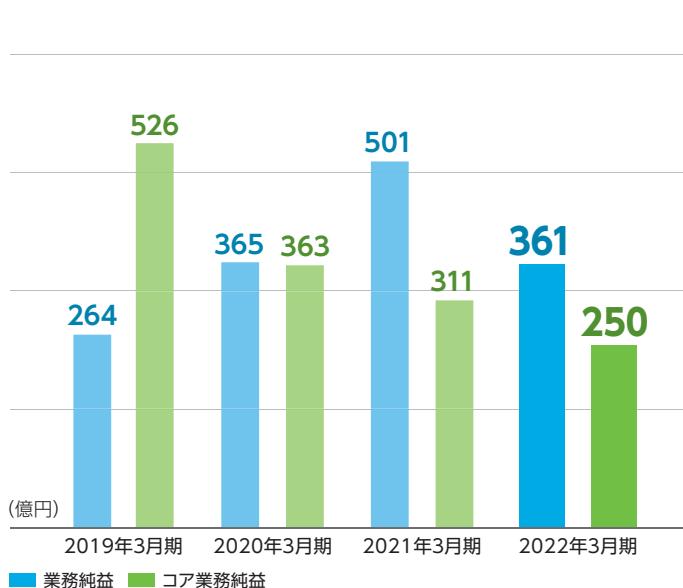
当期の業績につきましては、次のとおりです。



■ 資金利益 / 業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表し、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。

貸出金利息の減少を主因に、資金利益は前期比63億円減少し、694億円となりました。業務粗利益は前期比72億円減少し、653億円となりました。



■ 業務純益 / コア業務純益

業務純益は、一般貸倒引当金繰入額の増加等により、前期比139億円減少し、361億円となりました。

コア業務純益は、貸出金利息の減少に伴う資金利益の減少を主因に、前期比61億円減少し、250億円となりました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

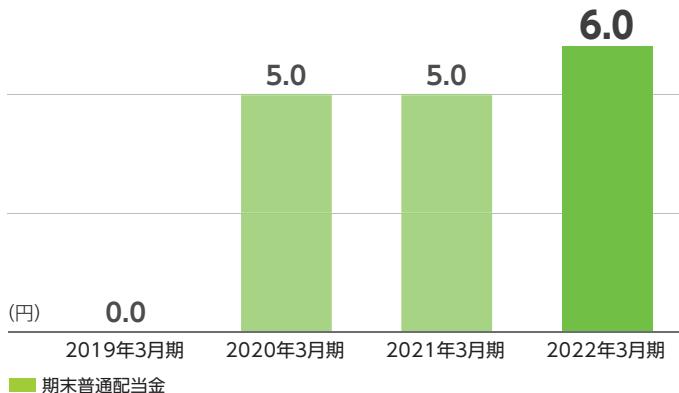
コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益



■ 経常利益／当期純利益

経常利益は、実質与信費用の増加を主因に、前期比98億円減少し、100億円となりました。

当期純利益は、経常利益の減少等により、前期比110億円減少し、78億円となりました。



■ 一株当たり年間配当金

一株当たり年間配当金は、安定配当を基本方針とし、今後の業績推移や内部留保、経営環境を総合的に勘案した結果、期末配当を前期比1円増配の一株当たり6円といたしました。

営業の概況



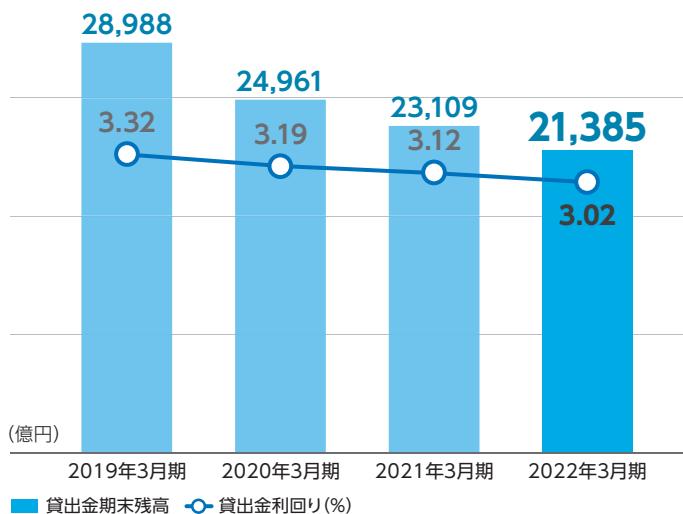
■自己資本／自己資本比率（国内基準）

経営の健全性を示す自己資本比率は、前期比0.22%上昇し、12.35%となりました。

自己資本は〈コア資本に係る基礎項目〉から〈コア資本に係る調整項目〉を控除して算出しております。

当社の〈コア資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と一般貸倒引当金により構成しております。

自己資本比率 = 自己資本額(コア資本に係る基礎項目 - コア資本に係る調整項目) / リスクアセット等 × 100



■貸出金期末残高／貸出金利回り

貸出金期末残高は、前期比1,723億円減少し、2兆1,385億円となりました。また、貸出金利回りは、前期比0.10%低下し、3.02%となりました。



■ 預金期末残高／預金利回り

預金期末残高は、前期比616億円増加し、3兆3,121億円となりました。

個人預金期末残高は、前期比507億円増加し、2兆6,881億円となりました。

預金利回りは前期比横ばいの0.04%となりました。



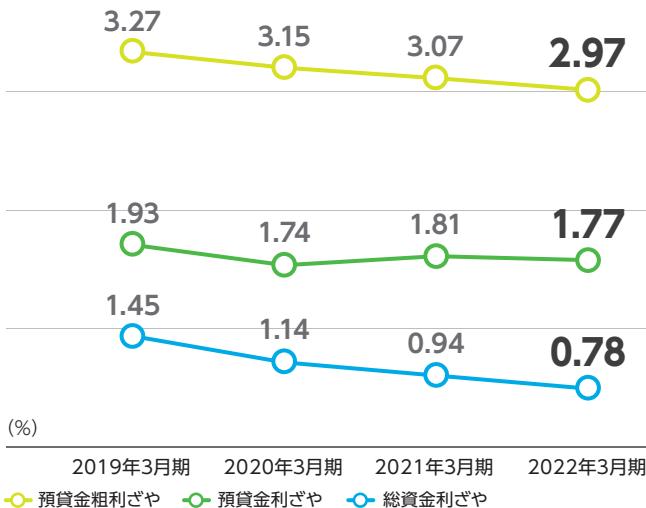
■ 預貸金粗利ざや／預貸金利ざや／総資金利ざや

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りから預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。

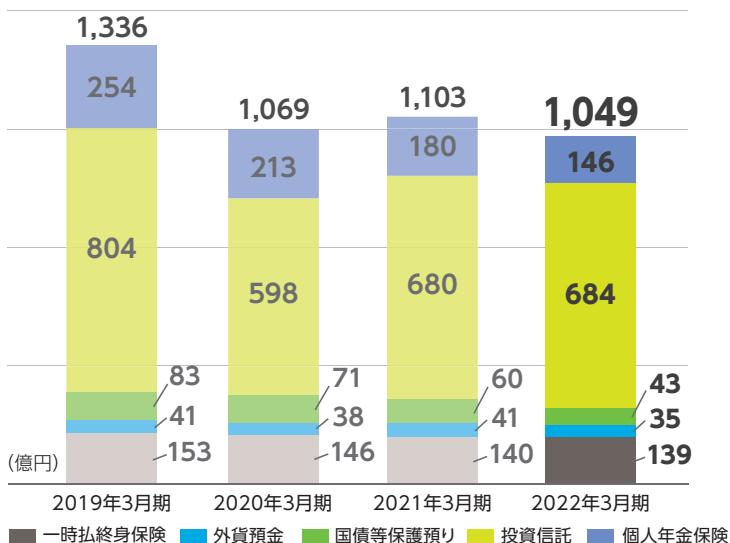
預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。

総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。

総資金利ざやは、資金運用利回りの低下を主因に、前期比0.16%縮小し、0.78%となりました。

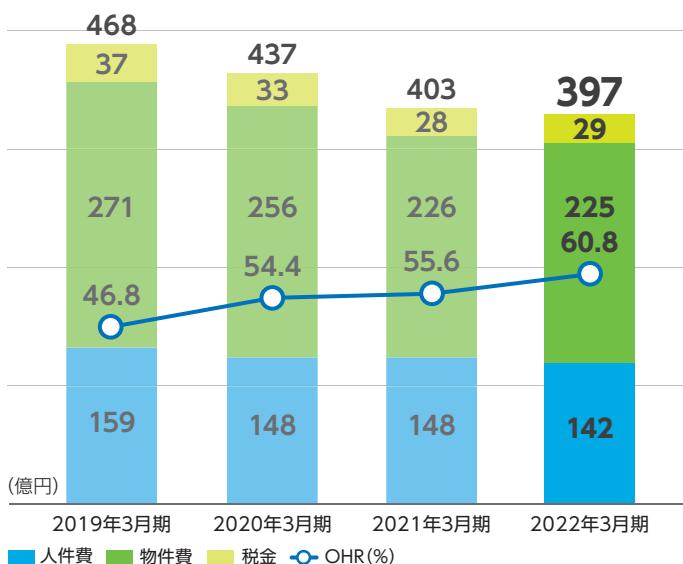


営業の概況



■ 個人預り資産期末残高 (投資性商品)

個人預り資産の期末残高は、前期比54億円減少し、1,049億円となりました。



■ 経費 / OHR

経費は、中期経営計画に掲げた構造改革を前倒して進めた結果、前期比6億円減少し、397億円となりました。

業務の効率性を示す指標であるOHR(オーバーヘッドレシオ)は、業務粗利益の減少により、前期比5.2%上昇し、60.8%となりました。

$$\text{OHR(オーバーヘッドレシオ(\%))} = \text{経費} / \text{業務粗利益} \times 100$$



マテリアリティの策定

SDGsについての基本的な考え方

当社グループは、先の不祥事の反省を踏まえ、お客さまからの信頼回復と、健全な組織風土・企業文化を築くため、ガバナンス・コンプライアンス体制の再構築を全社一丸となり進めてまいりました。また、社員にとっても当社グループが「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在になることを目指し、職務環境改善・再整備も並行して進めてまいりました。

引続きガバナンス・コンプライアンスの一層の強化、真に社員が活躍・成長できる環境の整備を促進するとともに、これまでの当社グループの取組みや活動を見直したうえで、今後は、地域における社会課題の解決や環境保全にもより積極的に取り組み、地域の経済および社会の持続的な発展に貢献してまいります。

スルガ銀行グループのマテリアリティ

当社グループのマテリアリティは以下の4つです。各マテリアリティは独立したものではなく、すべてが有機的に結びついており、すべてのステークホルダーへの責任を果たすうえで不可欠な要素です。



スルガ銀行グループの取組み

マテリアリティとして掲げた4つのテーマごとに、社内・社外の課題解決のため以下の取組みを推進します。それぞれの取組みは、SDGsと結びついており、持続可能な開発目標の達成に資するものであり、今後も取組みの実効性の向上・レベルアップを図ってまいります。



Social 社員が活躍・成長できる環境の整備



■ ダイバーシティの推進

当社は、女性社員が活躍する職場を目指し、管理職への積極登用や長期的なキャリア形成支援、産休・育休制度の拡充などに取り組んでまいりました。今後も多様化する社会に対応し、性別や年齢に関わりなく、社員一人ひとりがいきいきと働き、能力を最大限発揮できる職場環境の整備に努めてまいります。

■ 女性社員が活躍する職場を目指して

● 「小田原Lエール」ゴールドステージに認定

2021年11月、小田原支店、小田原東支店が「小田原Lエール」のゴールドステージに認定されました。

※「小田原Lエール」:女性の活躍推進に対し積極的に取り組んでいる市内の企業を、その取り組み内容に応じて「ゴールドステージ」「シルバーステージ」「ブロンズステージ」として認定する神奈川県小田原市の制度です。

● 「えるぼし認定(3段階目)」を取得

2022年3月、女性活躍推進法に基づく基準適合事業主として、厚生労働省より最高位の「えるぼし認定(3段階目)」を取得いたしました。

※「えるぼし」:女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づき、女性の活躍推進に関する取り組みの実績状況が優良な企業を、厚生労働大臣が認定する制度です。

■ 産休・育休制度の拡充

● 掛川市「子育てに優しい事業所」AAAに認定

2022年2月、掛川支店が掛川市「子育てに優しい事業所」AAAに認定されました。

※掛川市「子育てに優しい事業所」:市内の子育てと仕事の両立環境の整備に積極的に取り組む事業所等について、静岡県掛川市と社会保険労務士が審査し、3段階の区分(AAA、AA、A)で認定する制度です。

〈子育て支援における取り組み〉

- ▷ 育児休業中、スムーズな職場復帰を促すオンラインによる職場復帰プログラムを提供
 - ▷ 職場復帰時には、社員の要望により自宅や保育園に近い勤務地への人事異動を実施
 - ▷ 勤務時間に関する制度の見直し
 - 時短勤務:最長小学校就学前まで延長
 - 時間外勤務免除:最長中学校就学前まで延長
- 制度を推奨する風土の醸成と、妊娠中の健康面に配慮した人員配置や、職場復帰までのアフターケアも行っています。



「小田原Lエール」ゴールドステージ
認定マーク



「えるぼし認定(3段階目)」
ロゴマーク



掛川市「子育てに優しい事業所」
認定マーク



Social
 サステナブルな地域経済・社会の構築



■ ファイナンシャル・インクルージョンへの取組み

近年、あらゆる人々が生涯にわたり経済的に安定した生活を営むことができるよう、金融の知識やノウハウ提供、金融サービスへのアクセスを可能にするファイナンシャル・インクルージョン(金融包摂・FI)の必要性が高まっています。

2021年9月にファイナンシャル・インクルージョンの実現に向け、金融サービスが行き届いていないお客さまに寄り添い、安心をお届けすることをミッションとした「FI推進室」を設置いたしました。まずは、外国籍の皆さまに向けた商品・サービスの拡充により、外国籍の皆さまの生活の質向上を図り、ファイナンシャル・インクルージョンの実現に貢献してまいります。

● 地銀初!

Web完結で口座開設可能な「外国籍のお客さま専用口座」の取扱い開始

2022年5月より、「Dバンク支店」にて、地銀初となる外国籍の方がご利用いただける普通預金口座の取扱いを開始いたしました。今まで在留資格等を理由に口座開設ができなかった外国籍の方に対して、普通預金口座、Visaデビットカードのみならず、キャッシュレス決済へのチャージや口座振替の件数に応じて、現金特典が受けられるお得なサービスを提供してまいります。

● 外国籍の方向けオートローンの取扱い開始

2022年2月より、永住権のない外国籍の方向けオートローンの取扱いを開始しました。仕事や日常生活において車やバイクが必要であるにも関わらず、在留資格によってはローンを利用することが出来ず、不便を感じている外国籍のお客さまを支援してまいります。



当社ホームページ

■ KUROFUNE、One Terraceとの連携によるビジネスマッチングを開始

● KUROFUNE：お取引先企業へ外国籍の方向け支援サービスをご紹介

2021年11月に、日本で暮らす外国籍の方の支援を行っているKUROFUNE株式会社と提携し、同社が提供する外国籍の方向け支援サービスのビジネスマッチングを行っております。地域の中小企業における外国籍の人材の定着率向上や就労先の企業を通して外国籍の皆さまの生活の質向上を図ってまいります。



● One Terrace：高度外国人材紹介事業を開始

2022年1月に、高度外国人材紹介事業を展開する株式会社One Terraceとのビジネスマッチング契約を締結し、地域の中小企業が抱える、人材不足や技術力向上等の課題解決に貢献してまいります。



Social サステナブルな地域経済・社会の構築



■ スルガ銀行サイクリングプロジェクト

2010年に発足したスルガ銀行サイクリングプロジェクトは、地域の観光資源と連携したサイクルツーリズムの推進により、新たな観光価値創造を目指すとともに、自転車の機動性を活かしたきめ細やかな観光情報の発信をすることで、地元のサービス業、観光業を支援しております。

詳細は下記をご覧ください。

スルガ銀行
サイクリング
プロジェクト

Facebook

Twitter

note

■ 地元観光事業者の皆さんを応援する取組み

地元観光地の活性化を目的として、温泉に精通した当社の社員が“温泉部長『井伊湯種(いいゆだね)』”というペンネームで伊豆・箱根・湯河原など地元エリアの温泉施設や飲食店、観光スポットの情報をホームページ上で発信しています。

2013年の活動開始から、すでに330か所以上の「地元のよいとこ」をご紹介しており、今後も新たなレポートを追加予定です。

詳細は下記をご覧ください。

井伊部長の
温泉グルメ探訪

いいゆだね スルガ 検索

■ サッカーに集まる“夢”を応援

静岡県沼津市を本拠地とする、静岡県東部地域初のJリーグクラブチームである「アスルクラロ沼津」の熱い挑戦を地域の皆さまとともに応援しております。

また、未来のJリーガーたちが競い合う「スルガカップ」各大会のスポンサー活動を通じ、地域のスポーツ振興および発展に向け取り組んでまいります。

2021年度「自転車振興に関するパートナーシップ協定」締結先



株式会社ウォークライド
2022.1.27締結



株式会社プレジャー
2022.2.10締結



「井伊部長の温泉グルメ探訪」
トップページ



「伊豆長岡温泉 いづみ荘」
取材時の様子



アスルクラロ沼津



「スルガCUP静岡県
チャイルドサッカー大会 in 御殿場」



Environment 環境保全への貢献



■ TCFD*の提言に賛同

2021年12月に、「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」の提言に賛同を表明し、推奨されたフレームワークを基に気候関連のリスクおよび機会に関して、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4項目で情報開示をいたしました。今後は、更なる分析を進め、気候変動に関する情報開示の充実を図ってまいります。

**2030年度のCO2排出量*の目標は、
2013年度比46%削減です。**

※Scope1(直接)+Scope2(間接)
集計範囲は、スルガ銀行の全営業店、全本部

※TCFD

(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)
2015年に金融安定理事会(FSB)の下に設置された金融システムの安定化を図る作業部会です。異常気象等、気候変動の物理的影響や脱炭素経済への急激な移行等が、金融システムの安定を脅かす恐れがあるとして、すべての企業に対し、①複数の気候シナリオを用いて、②自社の気候関連リスク・機会を評価し、③経営戦略・リスク管理へ反映させ、④その財務上の影響を把握し、開示することを求めています。

詳細は下記をご覧ください。

スルガ銀行ホームページ > MENU >
会社情報 > サステナビリティ >
気候変動への対応



■ 投融資方針(セクターポリシー)の制定

取引を通じて環境や社会に大きな影響を与える特定のセクターに対しての取組方針を明確化するために、責任ある資金の出し手として、特定セクターへの投融資に関する方針(セクターポリシー)を定め、公表いたしました。

詳細は下記をご覧ください。

スルガ銀行ホームページ > MENU >
会社情報 > サステナビリティ >
投融資方針(セクターポリシー)



■ 静岡県産CO2フリー電気「静岡Greenでんき*」の導入

脱炭素社会の実現に向けた取組みとして、静岡県内の店舗等で使用する電力を、CO2排出量ゼロの電気である「静岡Greenでんき」に変更いたしました。本件により、年間215トン程度のCO2排出量の削減を見込んでおります。

地球にやさしく、未来をあかるく。



導入施設(10施設)

清水支店、三保出張所、静岡支店、静岡南支店、静岡東支店、島田支店、袋井支店、榛原支店、相良支店、社員寮

※中部電力ミライズ株式会社が提供する静岡県産のCO2排出量ゼロの電気です。静岡県内に立地する大井川・天竜川・富士川・安倍川の各水系にある豊かな水資源を活用した水力発電所等の再生可能エネルギー由来の環境価値や地産価値を活用することで、CO2排出量ゼロを実現しております。

営業店舗網(118か店)

(2022年4月30日現在)

●静岡県(61か店)

本店営業部
沼津市役所出張所
沼津駅支店
沼津港支店
沼津南支店
沼津セントラル支店
沼津岡宮支店
沼津あしたか支店
沼津青野支店
沼津原町支店
三島セントラル支店
三島支店
長泉支店
清水町支店
徳倉支店
函南支店
伊豆長岡支店
修善寺支店
中伊豆支店
熱海支店
熱海駅支店
伊東支店
伊東駅支店
伊豆稲取支店
下田支店

松崎支店
御殿場駅支店
御殿場西支店
御殿場東支店
小山支店
裾野支店
富士吉原支店
富士支店
富士鷹岡支店
富士宮支店
清水支店
清水駅支店
清水三保支店
清水高橋支店
興津支店
草薙支店
静岡支店
静岡県庁支店
静岡南支店
静岡東支店
東静岡支店
焼津支店
岡部支店
藤枝支店
島田支店
金谷支店

榛原支店
相良支店
掛川支店
掛川駅前出張所
袋井支店
磐田支店
浜松支店
浜松追分支店
浜松北支店
天竜支店

●神奈川県(36か店)

横浜支店
神奈川県庁出張所
横浜東口支店
横浜日吉支店
横浜戸塚支店
横浜弥生台支店
横浜若葉台支店
横浜磯子支店
横浜六ツ川支店
横須賀支店
横須賀武山支店
久里浜支店
三浦海岸支店
藤沢支店
鎌倉支店

湘南ライフタウン支店
湘南台支店
辻堂支店
茅ヶ崎支店
茅ヶ崎鶴が台支店
浜見平支店
平塚支店
ららぽーと湘南平塚出張所
厚木支店
厚木鳶尾支店
相模原支店
東林間支店
中央林間支店
海老名支店
秦野支店
小田原支店
小田原東支店
大井松田支店
南足柄支店
箱根支店
湯河原支店
●東京都(4か店)
東京支店
ANA支店 Financial Center
渋谷支店
新宿支店

●広域店(6か店)

札幌支店
大宮出張所
千葉出張所
名古屋支店
大阪支店
福岡支店

●インターネット支店(11か店)

ANA支店
Tポイント支店
リクルート支店
Dバンク支店
ドリームダイレクト支店
ソネット支店
ダイレクトワン支店
イービジネスダイレクト支店
タウンネットワーク支店
ハウジングローン支店
個人専用支店

ATMネットワークのご案内



セブン銀行ATM



イーネットATM



ゆうちょ銀行ATM



イオン銀行ATM



タウンネットワークATM

株式についてのご案内



◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
そのほか、当社が定めた基準日

◇ 公告の方法

電子公告といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

◇ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社
事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店
連絡先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎0120-707-843

特別口座での手続用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

◇ 単元株式数について

当社の単元株式数は、100株であります。

◇ お知らせ

- (1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、ご相続、その他諸手続について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (2) 配当金の受取について
配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ちください。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (3) 未受領の配当金の受取について
株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせください。
- (4) 単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (5) 特別口座から一般口座への振替申請手続について
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されている場合は不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行ってください。

詳しい内容、お問い合わせは

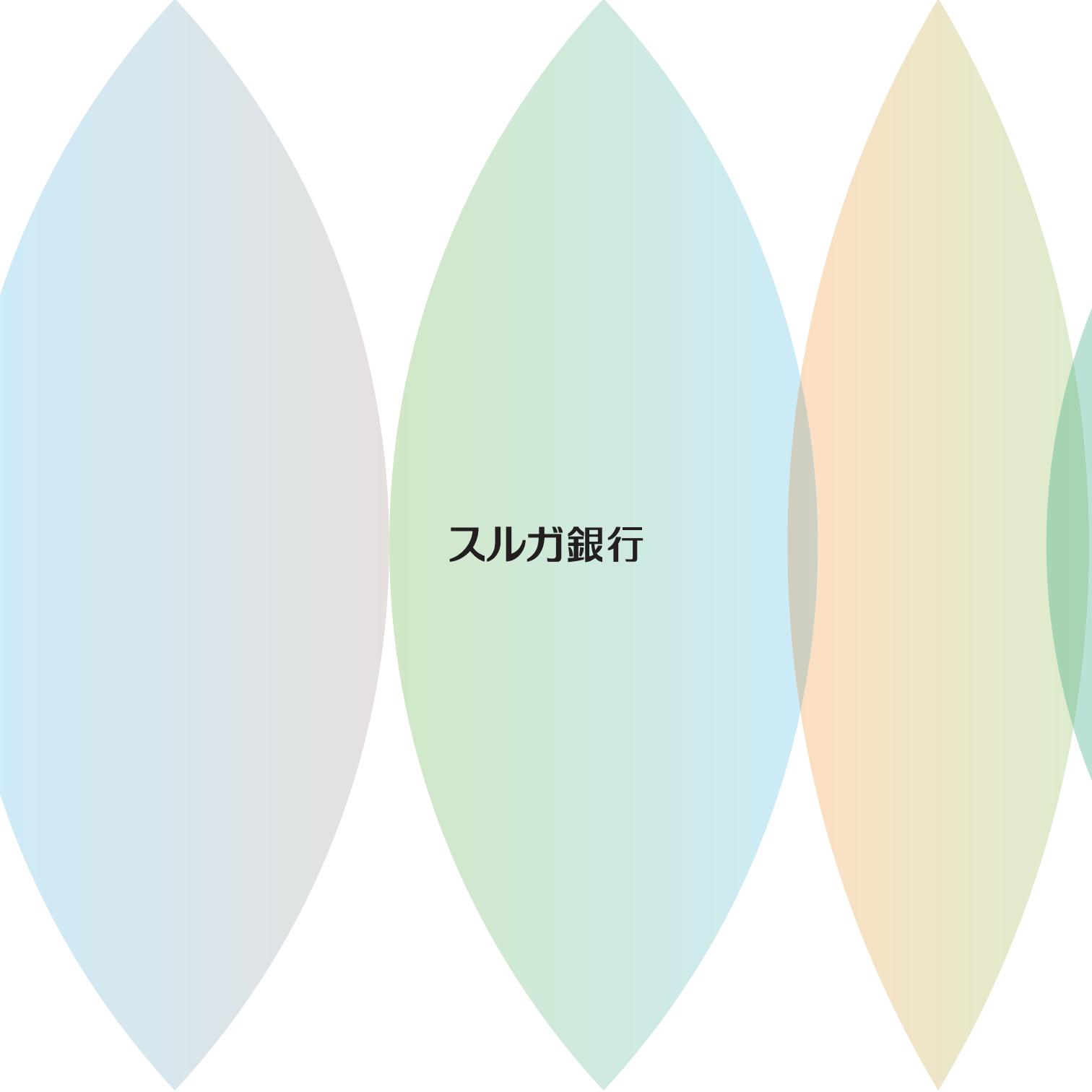
アクセスセンター ▶ ☎0120-50-8689 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00

ホームページ ▶ <https://www.surugabank.co.jp>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター ☎055-987-8182 24時間365日(有人受付) 同時に最寄りの警察にもお届けください。



スルガ銀行